

木質バイオマスエネルギー利用対策の取組

～ 地域の森林・林業関係者と一体となった、事業者ニーズに応じた木質バイオマス資源の安定供給体制の構築 ～

空知森林管理署

現 状

- 木質バイオマス発電施設への資源供給
- 木質バイオマス資源のニーズに対する情報発信
- 木質バイオマスボイラー施設への資材供給実施（芦別木質バイオマス開発協同組合）
- 林地未利用資源の集荷技術開発

木質バイオマス資源の有効活用と需要者への安定供給

今後に向けて

木質バイオマス資源の安定供給は、今後継続して対応する必要があり、地域課題の解決に向けた取組に係り、民有林支援の体制整備（サポートチーム）として「バイオマス資源安定供給チーム」を設置し、資源の現状把握や安定供給に係る対策等を検討のうえ各種対策を実施。

- 資源の安定供給（資源の団地化・大ロット化）
- 安定供給システム販売の実施
- 未利用資源発生状況の情報発信

署内にバイオマス資源安定供給チームを設置

平成27年度取組成果

○初回間伐林分等資源化に向けた団地化・大ロット化

・木質バイオマス発電事業等を視野におき初回間伐林分などを中心とした箇所を団地化するため、現地調査等により検証し施業実施計画の見直しを実施。（約8,000㎡）

○国有林材の安定供給システムによる販売の実施

・平成27年度の素材の安定供給システム販売を実施し、木質バイオマス発電所への資材の供給用として2社と協定を締結。（約12,500㎡供給）
・主に小中径木かつ原材料が生産される比率が高い林分を対象に立木の安定供給システム販売を実施し、平成26年度に3年間の協定を締結。（2年間 約4,700㎡供給）



○木質バイオマス資源の有効活用

・木質バイオマスボイラー施設（地域熱供給及び大型発電施設）への林地未利用資源の供給により、発電施設及び供給事業者等の施設拡大により雇用につながるとともに地域振興に貢献した。
芦別市木質バイオマス利用推進協議会において「芦別市木質バイオマス開発協同組合」の事業実施状況、民有林・国有林における関係機関等の事業概要について、林地残材の安定供給に係る現状把握及び施設整備の今後展望等、効率的事業運営に向けて情報共有及び意見交換等を実施。
振興局及び森林管理署の担当者により、木質バイオマス発電施設の現地視察を行う等、木質バイオマス資材供給に係る現状について状況把握等を行い、資源の安定供給の必要性を認識。



○低コスト集荷技術、林地未利用材等利用状況の情報共有

・北海道林業機械化協会により開催された「未利用間伐材搬出機械実演講習会」において、搬出間伐材を促進するため小型で比較的取扱いの簡易な林業機械による作業の実演講習が行われた。参加する中で、資格や支援制度、林地未利用材等の利用状況について木質バイオマス関連の情報交換を行った。
・空知地域木質バイオマス資源活用検討会により開催された「林地未利用材集荷システム作業現地見学会」において、地域特性を踏まえた林地未利用材の搬出方法を検討し、低コストな林地未利用材搬出により木質バイオマスの需要に対応することを目的として、間伐作業実施箇所での集荷システムの実演及び実証試験の情報共有により、効果的作業確立の一助となった。



○木質バイオマス発生情報提供等

・国有林の木質バイオマス発生状況（造材端材、林地未利用材）を幅広く需要者に情報提供するため、北海道森林管理局ホームページに掲載し、需要者が利用可能なものは積極的に供給するなど、木質バイオマス資源の確保に向けて対応してきた。
今後、木質バイオマス資源の掘り起こしに努め積極的な情報発信を行う。

